

遅れた市川市の救急医療体制

救命救急センター整備を

坂下県議の信念

坂下議員 私は、今年4月の県議会議員選挙において、市民の皆様方の貴重な一票の積み重ねによって、新たに4年間、議席を預かることになりました。

大きな職責を果たすため、県民目線で何事も挑み続けなければ、一票を活かすことができません。私の背中を押したのは、唯一市民の皆様の声であり、私を動かすのは、市民の声だけです。そして、私が常に意識しているのは、「政治は、行政は、議会は、誰のためにあるのか？」ということ。千葉県県の行政運営は、国民の汗である税負担の上に成り立っています。したがって、執行部も議会も、県民の方が何を望んでいるのかということを常に追求し、県民が受ける利益を最大化させていかなければなりません。

その一歩として、県民の声を県政に届ける質問と、その県民の声を実現させるための財源確保（財政課題）について、質問いたします。



登壇し、一般質問を行う坂下茂樹県議

救急基幹センターを含めた東葛南部圏域のあり方検討 県答弁

大勢の市川市民の後押しで、坂下茂樹県議は新たな4年間の県議員活動をスタートさせました。6月県議会では早速、一般質問に臨み、市内に救命救急センターが一つもない市川市の救急医療体制の改善を県執行部に求めました。

に要望しました。このほか、血清研究所の跡地利用問題、旅券事務の市町村移譲への取り組み、県の財政健全化計画などについて質問しました。坂下県議の質疑と知事ら県執行部の答弁を特集します。

坂下議員 市川市の規模は、本県で4番目に人口が多く、県税納税額が3番目に多い市だ。しかし、市内に第3次救急医療機関、救命救急センターが一つもない。同じ県民でありながら、命に関わる医療体制に格差が生じるとすれば、それは許されないとと思う。

そこで、市川市に救命救急センターを整備すべきと思うが、どう考えるのか、また平成26年6月議会でも要望した救急基幹センターの指定について、進捗状況はどうか。

保健医療担当部長 救命救急センターは、重篤な救急患者を24時間体制で受け入れることを、その本来的な役割としているため、高度な救急医療に精通した専門医師の配置や20床以上の救急専用病床の確保などの指定基準に基づき整備しております。

県では、増加が続いている救急搬送の状況改善に向け、千葉県救急・災害医療審議会などの会議において関係者と議論を重ねてきたところでございます。

今後、本年度に予定している千葉県保健医療計画の見直し作業に併せ、市川市を含めた東葛南部圏域における救命救急センター及び救命救急センターの補完的な役割を果たす救急基幹センターのあり方について検討してまいります。

坂下議員 救命救急センターへの救急搬送状況ですが近隣で見ると市川市、船橋市が悪く、市川市では都内や神奈川県に搬送されるケースも多くある。やはり、この地域に受入可能な医療機関が必要と思われる。

24年2月議会でも同様の質問をしたが、他県では2か所以上受入を断られた患者を受け入れる医療機関をを最大化させていかなければなりません。

坂下しげき PROFILE

経歴

- 昭和49年11月 市川市生まれ
- 昭和62年3月 市立曾谷小学校卒業
- 平成2年3月 市立第一小学校卒業
- 平成5年3月 船橋法典高校卒業
- 平成9年3月 日本文化大学卒業
- 金子和夫県議秘書
- 平成15年4月 市川市議会議員初当選（2期連続当選）
- 平成23年4月 県議会議員初当選

現職

- 県議会 文教常任委員会副委員長

要望

坂下議員 医療体制整備については、市川市のみならず地域の課題であり、また県民の願いであるので、一歩でも二歩でも進めるように森田知事のリーダーシップのもと行っていたきたい。

●県政や地元市川市のご相談、ご要望をお寄せください

坂下しげき 県議事務所

〒272-0022 市川市鬼越2-5-8 金子和夫事務所内
TEL.047-318-0055
FAX.047-318-0500

市川市内の血清研跡地 スポーツ施設への活用要望



門扉が閉ざされ、活用されないままの血清研跡地

坂下議員 市川市では、子どもから高齢者の方まで、スポーツを楽しみたい方が非常に多くいるが、野外で広い場所を使うスポーツが気軽に楽しめる公共施設が不足している。一方で、市川市内には、県有施設が多くあり、未利用地もある。例えば、血清研究所の跡地には貴重な文化財があるが、市民に広く公開する機会が少なくっている。文化財を維持しつつ、未利用となつてい部分の土地を活用して、スポーツ施設として提供し、同時に文化財も広く市民の目に触れるようにする方法などがあると思う。

そこで、血清研究所の跡地など未利用の県有地を利用し、市民から要望の多いパークゴルフ場や野球場等スポーツ施設の設置を図るべきと思うがどうか。

教育長 県内のスポーツ施設の基本的な方向性を示した「千葉県中核的スポーツ施設整備基本計画」では、県全域にわたるスポーツ事業を実施する中核的施設や、隣接する市町村域で利用される広域的施設については、県が設置するものとしてい

ます。
ご指摘のあった血清研究所跡地については、土地の面積や形状などから、県として中核的又は、広域的な施設を設置することは難しいと考えております。
なお、市町村等がスポーツ施設の設置を希望する場

合には、その求めに応じて必要な助言や、関係機関と調整を行つてまいります。
要望 坂下議員 血清研跡地のスポーツ施設確保については、市と協議して市民が有効に利用できるように最善の努力をしていただきたい。

川市内の国道の側溝清掃や点検」にどのように取り組んでいるのか。
県土整備部長 県では、側溝や排水溝などの点検を定期的に行い、土砂が堆積し、道路冠水の恐れがある箇所などを優先して、清掃を実施しています。
市川市内において、昨年度は点検の結果を踏まえて、県道若宮西船市川線を含め5路線で、側溝清掃を実施いたしました。

介護職員の処遇 国に改善を要望 報酬改訂などを県

坂下議員 介護施設の不足の原因の一つとして、「介護職員が足りない」という問題がある。そこで、介護施設職員の低い給与の実態とそれに対する県の認識はどうかをうかがう。
健康福祉部長 介護職員が不足している状況が続いておりますが、その二つの要因として、低い賃金の実態があり、今後、介護職員の需要がますます高まる中、その改善は重要なことと認識しております。

続き、国道、県道の側溝清掃の促進や市川市と連携して浸水被害が出ないよう尽力していただきたい。

豪雨に弱い市川市

水害防止へ側溝清掃

坂下議員 市川市では、このところ毎年のように局地的な集中豪雨等により、都市型水害が発生し、昨年は全国ニュースで報道されるような被害もあつた。

水害は、都市機能を麻痺させ、生命・財産にも危害が及び、衛生面でも深刻な問題を引き起こす。

この数年の異常気象による被害は、もはや想定外ではなく、喫緊に対策を講じ、県民生活を守っていかねればならない重要課題とな

ついている。
そこで、うかがうが、水害防止策として、当然しつかりと行う必要がある「市

高谷川排水機場が完成

市川市鬼高地区の 浸水被害軽減期待

坂下議員 市川市鬼高地区も浸水被害に悩まされている。昨年の12月議会において質問したが、鬼高地区の浸水軽減対策の一つとして、高谷川排水機場の整備がある。平成26年度末に完成させようかがつているが、この排水機場の整備完了に伴い、どのような効果が期待できるのか。

県土整備部長 平成26年度末に完成した高谷川排水機場により、時間雨量45ミリメートル程度の大雨に伴い、どのような効果が期待できるのか。

対応した流下能力が確保されたところだ。
これにより、市川市鬼高地区における浸水被害の軽減に寄与するものと考えております。

県といたしましては、今後高谷川の河道掘削などを実施し、地元市とも連携を図りながら、治水安全度の向上に努めてまいります。

MARS 感染の疑い 「保健所へ連絡」周知を

坂下議員 中東呼吸器症候群、MARSについてお尋ねする。
感染症については、初期対応が重要であることは言

うまでもない。もし、MARS 感染の疑いのあるときは、2 次感染を防ぐため、直接医療機関に行かず、保健所に連絡することになっ

ている。
しかし、このことを知らなければ、急いで医療機関にいくのが普通。周知が必要と考えるが、周知の徹底

についてどのように行つていくのか。
保健医療担当部長 感染が心配な方は、医療機関を直接受診せず、まず、保健所に相談をしていただくよう県庁ホームページで周知しております。

また、今後も県民だよりなどにより幅広く周知を図つてまいります。

要望 坂下議員 千葉県には成田に国際空港

があるため、感染症対策については、万全を期す必要がある。
理解と知識を広めることにより、感染の拡大を防ぎ、予防につなげるため、県民だけでなく県内の市町村の広報誌にも、医療機関を直接受診せず保健所に連絡する旨、周知徹底を図られたい。

要望 坂下議員 これまで鬼高地区は浸水被害で苦しめられてきた。高谷川排水機場の整備によって、浸水被害の軽減が期待できるとのことだが、引き

元利償還金、重荷に
国に「廃止を強く働きかけ」
知事

のか。

地元企業に一層の配慮を

収入の徴収率について、過去の議会でも再三尋ねている通り、本県は、全国47都道府県中、最下位争いをしているような状況にある。

そして、県民共通の貴

重な財源が数年後には不
納欠損として消えていく。
生活困窮者などへ適正